

健全で豊かな森林づくりプロジェクト フォローアップ委員会 自己評価シート

プラン名	急傾斜地域における路網整備と機械を活用した低コスト木材生産			作成日	2008年 11月 19日		
実施方法	<input type="checkbox"/> 単独	<input checked="" type="checkbox"/> JV	所属	中濃森林組合		記入者	林郁夫
プロジェクトの対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）				
	○放置人工林 ○成熟しつつある森林資源 ○木材生産システムが未確立 ○施業集約化ノウハウ不足 ○作業路開設技術が乏しい ○森林所有者の路網アレルギーと山に対する関心の低下		○明るく下草が繁茂する健全な人工林に転換 ○利用伐期齢にある森林から木材生産を促進 ○中濃地域独自の路網整備と高性能林業機械を活用した木材生産システムを確立 ○小規模森林所有者の施業集約化 ○急傾斜地域における路網開設技術の習得 ○低コストで壊れにくい作業路の開設 ○森林所有者の山林に対する関心を喚起				
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか） ○JVを組むことにより森林組合の情報力と民間事業者の素材生産力を組み合わせ効率的で生産性の高いシステムを構築。 ○高性能林業機械の導入により車両系と架線系システムの確立。 ○その森林に最適な施業プランを作成し、座談会、戸別訪問、現地説明会の開催により集約化を図る。 ○森林所有者へ所得還元を図り、森林に対する関心の喚起を図る。 ○先進地視察や講師を招き技術の習得。 ○産官学が連携して事業のPDCAサイクルに取り組み、着実なプロジェクトを推進。						
事業期間	平成 19年度 ～ 平成 23年度（ 5 年間）						
事業費 / 年度	モデル団地への国・県・市町村補助金投入額（平成19年度決算） ※職員人件費を除く						
		森林整備関係	搬出補助関係	機械導入関係	治山関係	保安林整備関係	その他
予算執行額（千円）	18,968.0	13,911.0	54,285.0				6,036.7
財源内訳	国・県費	8,697.4	8,785.0	25,850.0			3,830.0
	市町村費	340.7					
	一般財源						
	その他	9,929.9	5,126.0	28,435.0			
事業実績	成果指標		単位	19年度		20年度	
				計画	実績	計画	進捗
	①	施業集約化	ha	16.0	22.0	20.0	32.0
	②	植栽	ha	0.0	0.0	1.0	0.0
	③	下刈・除伐	ha	0.0	0.0	0.0	0.0
	④	切捨間伐	ha	35.0	16.3	40.0	14.5
	⑤	利用間伐	ha	10.0	10.6	40.0	14.7
	⑥	主伐	ha				
	⑦	作業道開設（延長） w= 3.0 / 3.6 m	m	1,100 /	1,399 /	2,000 /	3,013 /
	⑧	作業道開設（開設コスト） w= 3.0 / 3.6 m	円/m	5,000 /	2,200 /	4,000 /	3,000 /
	⑨	木材生産量（モデル団地内）	m ³	800.0	987.0	3,200.0	1,097.0
	⑩	木材生産量（モデル団地外）	m ³	1,600.0	385.0	3,600.0	200.0
	⑪	木材生産性	m ³ /人日	5.7	4.5	6.5	6.4
	⑫	木材生産コスト（伐採～積込まで）	円/m ³	9,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0
	⑬	高性能林業機械導入	台	3.0	3.0	0.0	0.0
	⑭	伐採専門チーム養成	チーム	1.0	1.0	0.0	0.0
	⑮	森林施業プランナーの育成	名	4名	1名	4名	3名
	⑯	定点観測写真撮影	箇所	5箇所	5箇所	4箇所	4箇所
	⑰	森林所有者に対する意識調査	回	1回	2回	1回	2回
	⑱	森プロ検討会の開催	回	3回	3回	3回	2回
	⑲	視察・研修会の開催	回	5回	17回	5回	14回
	⑳	林産班の編成・育成	班	1班編成	1班編成	1班育成	1班育成
	(21)	作業路開設の事前検討	路線	2路線	2路線	2路線	2路線
	(22)	一般市民に対する普及啓蒙	回	2回	1回（HP）	2回	3回（イベント等）
(23)	JV協定量	ha	30.0	9.8	85.0	18.7	
(24)	施業方法の検証	回	1回	実績なし	1回	実績なし	
補足説明	森林施業プランナーは、中濃森林組合において1名研修（全国森林組合連合会主催：施業プランナー研修）に参加しながら実際の現場を担当している。他の職員も通常業務の傍ら中濃森プロの実施状況を見学するなどして作業路開設・利用間伐の必要性が理解されてきた。さらに、職員会議の中で各職員が担当地域で施業集約化による施業プランのプレゼンを行うなど、森林組合内部でも施業プランナー育成に取り組んでいる。結果、中濃森プロ団地以外の3か所（洞戸30ha、武儀10ha、板取5ha）の地域でも提案型集約化施業の計画、実施が行われている。						

	【 自己評価 】			
	配点	3点	2点	1点
	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
	進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
1 達成度	補足説明	<p>路網構築と機械利用による低コスト木材生産システムの普及が進み、山元に利益を還元できるシステムが構築された。こうした取り組みの結果、森林所有者の山に対する関心が高まってきた。木材生産性も作業者が高性能林業機械にも慣れ目標値に近づいた。しかし、間伐計画量は目標値を下回っている。特に利用間伐は、現場作業の多くを作業路開設に時間を費やされ、森林施業が遅れがちである。このため、作業路開設については民間土建業者に下請けに出すことを検討している。</p>		
	コメント	・別添フォローアップシート参照		
	【 自己評価 】			
	配点	3点	2点	1点
	木材生産の拡大が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られている	<input type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない
	森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部確認できる	<input type="checkbox"/> 確認できない
	山地災害発生を抑制する工夫ができたか	<input type="checkbox"/> 工夫できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input type="checkbox"/> 工夫できなかった
2 成果	補足説明	<p>施業提案による本格的な間伐材の利用拡大が図られた。作業路線形を決定に至るまでに崩壊予定地や岩地帯を避けるなど踏査に時間をかけた。急傾斜地を通過しなければならないなど、やむを得ない場合は丸太組工法の採用した。路面排水は素掘り横断溝のほか、雨水を集中させないよう外カントによるその場排水を行い、洗い越しについては、基礎部に岩、転石を敷き詰めるなど水処理には細心の注意を払っている。盛土及び盛土土羽部分は十分な転圧をかけることにより壊れにくい作業路づくりに心掛けた。しかし、作業路開設を初めてまだ日も浅いことから、縦断勾配が急勾配となってしまった箇所ができた。これを教訓に新しい施業地では線形踏査をさらに注意してすすめている。</p>		
	コメント	・別添フォローアップシート参照		
	【 自己評価 】			
	配点	3点	2点	1点
	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input type="checkbox"/> 得られた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部得られた	<input type="checkbox"/> 得られていない
	効率的な実施体制で推進されているか	<input type="checkbox"/> 推進された	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない
	積極的に民間活力を活用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 活用できた	<input type="checkbox"/> 一部活用できた	<input type="checkbox"/> 活用できなかった
3 効率性	補足説明	<p>中濃森プロJVを結成し、森林組合の情報力と民間事業者の素材生産力を組み合わせ効率的実施体制で推進している。このほか、流通コストを削減するため、山土場・中間土場仕分けをし、森連のシステム販売等を活用して有利販売に心掛けた。また、小径木まで有効利用すること、造材木にはスギノアカネトラカミキリの被害が見受けられたこともあって、木材仕分け技術に精通した森林組合職員を森プロ現場に派遣するなど、さらなる効率的な実施体制を構築している。しかし、機械が効率的に稼働するだけの現場作業者がいないことも否めず、今後は新規就労者の確保が課題となっている。</p>		
	コメント	・別添フォローアップシート参照		
	【 自己評価 】			
	配点	3点	2点	1点
	地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない
	プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input type="checkbox"/> 適当であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった
	期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input type="checkbox"/> 養成された	<input checked="" type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない
4 妥当性	補足説明	<p>森プロ事業実施地をモデル林として位置付けて、地域森林所有者等の見学会に活用した。参加者もこの木材生産システムを理解し、事業地確保につながった。また、森林所有者からも「良い山になった」と喜びの声が寄せられているなど、仕上がった山に満足している。こうした取り組みを地域住民に周知するため、地域のイベント等でパネル展示し、啓蒙普及に努めた。プロジェクト対象地は財産区有林・大規模所有者が多く施業の取りまとめは比較的容易であったが、保安林に指定されているため、現場作業を進めるための制限が多く苦慮した。森林組合の林産班が結成され活動しているが、まだ未熟（2～2.5m³/人日）であるため今後の技術研鑽が必要である。</p>		
	コメント	・別添フォローアップシート参照		

【 自己評価 】			
配点	3点	2点	1点
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した	<input type="checkbox"/> 一部向上した	<input type="checkbox"/> 向上しなかった
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input type="checkbox"/> 対応できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部対応できた	<input type="checkbox"/> 対応できなかった
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がない
5 発展性	補足説明 所有者：作業路が開設されることにより山の利用価値もあがり、さらに間伐により山が明るく健全な人工林になった。そのうえ、利益還元もあり所有者は満足している。 従事者：機械化により荒天時作業も可能になり施工計画が容易になり就労日数が増加した。また、機械化により労災事故が減少した。指摘事項はその都度対応策を検討し対応するようにしている。路網整備と機械を活用したシステムに取り組み始めて間が無いので、今後も先進地の事例等を取り入れて改善するべきところは改善に努める。		
	【 委員評価 】		
コメント	・別添フォローアップシート参照		

自己評価(集計)				
評価集計	1 達成度	2 成果	3 効率性	
	7	7	7	
	4 妥当性	5 発展性	合計点	
	7	8	36	
	総合評価	A		
総合評価：A＝現状維持 B＝充実・拡大 C＝要改善 (配点区分：A＝45～36点 B＝35～26点 C＝25～15点)				
補足コメント	森林組合は小規模所有者を対象とした施業集約化、(株)カネキ野村木材店は低コスト生産システムの技術研鑽に取り組み、この地域に即した生産システムを確立してモデル団地以外にも普及し、健全で豊かな森林づくりを推進します。			

フォローアップ委員会による総評			
推奨方針(案)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 充実・拡大	<input type="checkbox"/> 要改善
コメント	・別添フォローアップシート参照		